

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	
英語音声学 I English Phonetics I		
	■ ■ 時間割コード	
■ ■ 講義題目	104540	
	■ ■ 年度	■ ■ 時間割
	2012	前期 金4
■ ■ 担当教員	■ ■ 単位数	■ ■ 教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	■ ■ 対象年次及び学科	
	2～ 教育学部	

■ ■ 関連授業科目

英語音声学II

■ ■ 履修推奨科目

■ ■ 学習時間

講義90分 × 15回 + 自学自習

■ ■ 授業の概要

言語の本質である音声について、英語を主な教材として学ぶ。医学科の学生が骨や筋肉の名前を覚えさせられるのと同様に、プロの語学教師となる者は、調音器官の名称や、辞書で用いられる発音記号の暗記が必要となる。苦しいが頑張ること。

■ ■ 授業の目的

語学教師として必要な（1）正確な聞き取り、（2）明瞭な発音、（3）それらの指導法、を学ぶ。

■ ■ 到達目標

1. 母音と子音の正確な聞き取りと、丁寧な発音ができるようになる。
2. 発音記号の仕組みを理解し、使えるようになる。

■ ■ 成績評価の方法と基準

授業中の発表（30%）、課題演習（20%）、及び期末テスト（50%）の合計で単位を認定する。
実技科目であるため、口を動かさない受講者の単位は認定できない。

■ ■ 授業計画並びに授業及び学習の方法

Wk 1 (April 13) Introduction to the course
 Wk 2 (April 20) Phonology and pronunciation learning and teaching
 Wk 3 (April 27) Research and L2 phonological acquisition
 Wk 4 (*May 2) Speech sounds
 Wk 5 (May 11) Consonants 1
 Wk 6 (May 18) Consonants 2
 Wk 7 (May 25) Vowels 1
 Wk 8 (June 1) Vowels 2
 Wk 9 (June 8) Vowels 3
 Wk 10 (June 15) Phonemes in context 1
 Wk 11 (June 22) Phonemes in context 2
 Wk 12 (June 29) The syllable 1
 Wk 13 (July 6) The syllable 2

Wk 14 (July 13) Tutorial / Term exam
 Wk 15 (July 20) Follow-up / Discussion
 Be prepared to do the class work and homework. Details tba.

■ ■ 教科書・参考書等

Pamela Rogerson-Revell (2011).
 English Phonology and Pronunciation Teaching.
 Continuum Intl Pub Group, ISBN978-0826424037
 後期も続けて使用。税込 ¥2,589（生協にて購入）

更に専門的に学びたいければ Bibliography の Roach (2000,初級向け)や Ladefoged (2005a,現在は6版,やや専門的)に挑戦するとよい。
 日本語で読めるものなら、音声学一般については「改訂音声学入門」（小泉2003, 大学書林）、英語の音声学については「英語音声学」（竹林1996, 研究社）が易しく読みやすい。

■ ■ オフィスアワー

金曜13:00-14:30（予定）。

■ ■ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

聴覚や構音に障害を持つ学生は履修前に必ず相談のこと。

■ ■ 参照ホームページ

www.ed.kagawa-u.ac.jp/~nagai/

■ ■ メールアドレス

全て半角で nagai の後に @cc.kagawa-u.ac.jp をつけてください